

教科【技術・家庭】・種目【技術分野】

書名 項目	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで、科学的な思考に基づく知識が習得できるように工夫されている。問題解決をするために身に付ける必要がある技能は、「テックラボ」にまとめ、取り組む課題に応じて習得した技能を適切に選択できるよう工夫されている。各編の最後に「学習のまとめ」を設け、知識・技能の定着を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題解決例で、統一された問題解決の流れ（問題の発見・課題設定→計画→製作→評価・改善）を示し、自分自身の問題解決への見通しを持って取り組めるよう工夫されている。各章各節末に「問題解決カード」を示し、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○ガイダンスに「最適化の窓（技術の見方、考え方）」を設け、生徒が主体的に身の回りの技術などを見つめる活動ができるように工夫されている。また、各編の導入でも「最適化の窓」を活用し、技術の見方、考え方を捉えながら技術と関わろうとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○ガイダンスで、技術の進歩による生活の変化を紹介しながら、社会との関わりについて関心を持たせるよう工夫されている。技術の見方・考え方を「最適化の窓」として示し、「環境への負荷」について常に考えさせるとともに、環境に関連する内容には「環境」マークを付し、環境の保全に寄与する態度が養われるよう工夫されている。</p> <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○巻頭に安全な環境、安全な行動、安全な作業における注意事項を記述し、「安全」マーク「衛生」マークを付けて注意喚起し安全への意識を高める工夫がある。防災教育に関する内容には「防災」マークを付している。</p>	
資 料	<p>○イラストや写真、レイアウトの工夫があり、大きく鮮明な写真や図版を多数掲載している。</p> <p>○様々なマークを用いて、学習を深めたり、関連を調べたり、振り返ったり、新たな課題を考えたりする際に参考として使えるようになっている。</p> <p>○各ページ下に「技術の工夫」を設け、学習を深める豆知識が記されている。</p> <p>○DマークのQRコードから授業で活用できる資料が用意されている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○各内容とも、共通の構成でできており、それぞれ爪見出しで各章の場所がわかり、その内容がわかるようになっている。</p> <p>○書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一されている。重要語句は太文字で表記されている。</p>	
総 括	<p>○学習内容ごとに、「目標」から「まとめよう」までがひとまとまりとして構成されている。</p> <p>○指導内容の最後に「学習したことを確かめよう」「考えを深めよう」「生活に生かそう」を「学習のまとめ」として示している。</p> <p>○安全な作業に関わる内容が、作業場面に関連付けて示されている。</p> <p>○豊富な資料や問題解決例、他教科との関連により、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりすることができるようになっている。</p>	

教科【技術・家庭】・種目【技術分野】

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">New 技術・家庭 技術分野</h1> <h2 style="text-align: center;">明日を創造する</h2>	<div style="text-align: center;">6</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 図</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各1章の各節「学ぶ」で、基礎・基本となる知識を学び、各節末「ふり返る」で学習の理解を自己評価して深める工夫がある。実習題材では製作の手順に沿って基礎・基本の技能を学びながら、科学的な原理・法則を学ぶ工夫がある。各編「まとめ」で、学習した基礎・基本となる知識や技能をふり返り、理解の定着を図るよう工夫している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各編各2章の「学ぶ」で、設計・計画について見開きをもうけて、生徒が問題解決できる力を確実に養える工夫がある。まとめで、ものづくりを通して設計・計画を行った学習をふり返ることで、問題解決の力を定着できる工夫がある。また技術の問題解決について考えたりまとめることで、思考力・判断力・表現力の評価ができる工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各編各3章の「学ぶ」の「やってみよう」では、これまで学んだ技術の見方・考え方を働かせて技術のプラス・マイナスについて考察できるよう工夫されている。まとめでは、技術の役割や活用についてまとめることで、これまでに学んだ技術の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</p> <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○地球環境を保全するための活動について、材料の再利用などを取り上げ、生命の尊重や環境の保全に関わる内容には「環境」マークを付け、環境保全について関心を高め考えられるよう配慮している。社会の環境問題を取り上げることで、環境保全に寄与する態度を養うことに配慮している。</p> <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○作業に応じて安全のポイントを設けて、生徒が作業する中で怪我がないよう意識づけている。特に衛生マークにより衛生的な作業の必要性に配慮されている。「防災」マークと災害時を問題として想定した実習題材を載せることで、災害という課題を設定した技術の見方を養えるよう配慮されている。</p>	
資 料	<p>○QRコードを実習題材に付することで学習を深め理解を深める工夫がある。</p> <p>○中扉は社会で利用されている技術の写真やイラストを大きく配置し、生徒に技術への興味・関心を引き出させるよう工夫されている。</p> <p>○重要語句を青色で太字にすることで、多くの生徒に読みやすいように工夫されている。</p> <p>○マークを用いて、それぞれの興味にあわせて取り組むことができるようになっている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○内容ごとに色分けし、爪見出しで各章の場所がわかり、それぞれの内容に関する写真やイラストを配置して、学習の流れや違いがわかるようになっている。</p> <p>○書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一されている。重要語句は太文字で表記されている。</p>	
総 括	<p>○学習内容ごとに、日常生活との関わりや社会とのつながりを重視した課題を提示している。</p> <p>○指導内容の最後に「知識・技能」や「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を各編の「まとめ」として示している。</p> <p>○安全な作業に関わる内容が、作業場面に関連付けて示されている。</p> <p>○丁寧な作業手順を細かく分けて説明しており、一つ一つの工程の写真も大きく生徒が作業の全体像をつかみやすいように作られている。</p>	

教科【技術・家庭】・種目【技術分野】

<p>書名 項目</p>	<p>技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて</p>	<p>9 開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各内容は「導入→基礎学習→展開→まとめ・評価」の順で構成され、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるよう工夫されている。学習のまとめごとに「ふり返り」が設定され、各編の終わりに「学習のまとめ」が設定され、知識・技能の定着が確認できる。生活の中の真理を追究できるようになるため、科学的な根拠をもとに、技術を理解・習得できるような工夫がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各学習項目では、導入課題を設けて生徒が積極的に取り組む配慮と、実践的・体験的な学習課題を通して、生活をよりよくする意欲を引き出し、自ら課題を見出し、設定して解決を図る力を身に付けることができるよう工夫されている。適所に「問題解決」や「進め方」が俯瞰できるページがあり、学習の見通しを持ちやすい工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各内容の最後に、社会や環境と技術とのかかわりについての理解に基づき、技術の在り方や活用のしかたを客観的に判断・評価し、主体的に活用しようとする態度がはぐくめるような工夫がある。実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出そうとする工夫がある。</p> <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、社会や環境と技術とのかかわりについて理解を深められるように工夫されている。また環境とのかかわりの理解を通して、生命や自然への敬意、環境保全に寄与する態度、他者や自然と共生する態度を養えるようにしている。環境や資源・エネルギーに配慮する内容には環境マークを付している。</p> <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○安全教育は総合的な取り扱いに加え、個々の学習場面と関連付けて随所に「安全」マークを使って取り上げ、実践的で効果的である。また防災に関する技術についても、「防災」マークを使い、具体的に防災意識を高めている工夫がある。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○図・イラスト・写真など分かりやすく、作業しているようなアングルで掲載されている。 ○様々なマークを用いて、学習を深めたり、関連を調べたり、振り返ったり、新たな課題を考えたりする際に参考として使えるようになっている。 ○各ページの「豆知識」により、興味を持って学習を深めることができるようになっている。 ○随所に理解を深めるためのQRコードが掲載され、単発画面で資料関連が図りやすい。</p>	
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○内容ごとに色分けし、上部の爪見出しでその場所がわかるようになっている。そして、その内容に関する写真やイラストを配置して学習の流れや違いがわかるようになっている。 ○書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一されている。重要語句は太文字で表記されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○内容ごとに、「学習の目標」から「ふり返り」までが、ひとまとめとして構成されている。 ○指導内容の最後に「学習をふり返ろう」「技術のしくみ、工夫」「学びを深めよう」「探究」などを「学習のまとめ」として示している。 ○安全な作業に関わる内容が、作業場面に関連付けて示されている。 ○各内容ともバランスよく資料を配置しており、見やすい構成と、ページごとに考えが深められるよう「参考」が設けられ、主体的な学びにつながっている。</p>	

